

令和7年度 学校園評価(関係者評価)シート

学校園名

加古川市立平岡幼稚園

1 教育目標

心豊かに学び合い 育ちあうこどもの育成

2 基本方針

園児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい幼稚園生活が展開されるよう教育を進める。

◇「幼児期の終わりまでに育ってほしい力」を考慮して指導を行う。

◇園児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、園児一人一人の特性に応じた指導・支援を行う。

◇園児の自発的な活動としての「遊び」を生み出すために必要な環境を整え、園児の心身の発達の程度や季節などに適切に考慮して活動を展開する。

3 指導目標

目指す幼児像として設定し、日々の保育に努める。

①心も体も健やかで明るい子（健康）

②友達と支え合い、仲良く遊ぶ子（人間関係）

③自然に親しみ、生き生きと遊ぶ子（環境）

④言葉で気持ちを伝え合う子（言葉）

⑤感じる心・考える力のある子（表現）

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
基本的な生活習慣の確立	・身近な人に、自ら進んで挨拶しているか。 ・早寝早起きをし、朝食を食べているか。 ・自分でできることを自分でしようとしているか。	B	挨拶は進んでする姿が多く見られるようになった。保護者も子ども達によく声をかけている。身の回りの始末や片付け事は、まだまだ保護者にしてもらっているところがある。今後も家庭と連携を図りながら取り組んでいく必要がある。
思いやりのある優しい気持ちを持った子の育成	・友達や身近な人に親しみ、一緒に遊ぶことを楽しんでいるか。 ・自分の思いを伝えるとともに、相手の思いを受け入れながらかかわる力が育っているか。	B	協同性を育む遊びを保育の中で取り入れていくことで、友達と一緒に考えたり、意見を交換したりする姿が多くみられるようになった。地域やユニット等の交流も深めながら、人とのかかわり方や相手のことを思う優しい気持ちを今後も育てていきたい。
最後まで粘り強く取り組む力をもった子の育成	・様々な活動に意欲をもって取り組み、目標をもちながら最後まで懸命に取り組む力が育っているか。	B	前向きに物事に取り組む姿が多く見られた。保護者も協力的で家庭と一緒に考えてくれたり調べてくれたりした。姿勢の保持や運動、体面についても次年度も力を入れていきたい。

自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
自然にできるようになることが大切。ある程度できているので、ストレスなく声をかけることができるような雰囲気を保護者と一緒につくり続けてもらいたい。	B
楽しく遊んでいる姿をよく見れたと思う。何か起きた時にも「どうしたの?」と心配して声をかける姿も見ることができた。遊びを通じて学ぶことはたくさんあると思う。引き続き遊びを通じていろいろなことを楽しむこと、人とつながっていくことをこれからも働きかけていってほしい。	B
何でも興味をもち園でもたくさん体験させてもらった。みんなで取り組む姿がよかった。興味をもつきっかけをたくさん作って大切にもらっていると思う。いろいろなことに意欲的に取り組み、さらに次のステップに向かってもらいたい。	A

<p>小学校・地域との連携</p>	<p>・小学校や地域の方々など、縦横のつながりや地域の教育力を保育の中で活かして取り組んでいるか。</p>	<p>B</p>	<p>小学校との連携は、春に入学した時に6年生として迎えてくれる5年生とも交流することができ、小学校への円滑な接続に向けた活動ができた。地域の方々とは今後も継続して取り組んでいきたい。</p>	<p>他の園より小学校との交流が多かった。小学校の様子を見ることができ、いい体験になった。小学校とのつながりは地域の少年団活動が少なくなってきているので非常に大切だと感じる。今後も異年齢の子ども達のつながりを大切にしていってほしい。</p>	<p>A</p>
-------------------	---	----------	--	--	----------